

APU COOP

ひとつことカードの回収とサスペリ回収

第26号
(通算579号)



[環境]

取り組み概要

日時：2024/10/31
場所：APU COOP 店舗内
参加者数：約170人
組合員の反応：ハロウィン限定の企画に
楽しそうに参加していました。

概要：10月31日にハロウィンの企画と合
わせて、特製のひとつことカードの回収と
サスペリ（リ・リパック）回収を実施し
ました。組合員に関心を持ってもらえる
ような工夫が細部に施されていました。

組合員の参加を大切に
したハロウィン企画

POINT.1

ひとつことカードを書きたいと思えるような工夫



今回はハロウィンということで特大のカボチャの重さ当て
ゲームを行いました。かぼちゃの重さを想定し、紙に記載し
てはりだすというものでした。その紙には重さの予想と合わ
せて生協への要望やASC（学生委員会）に取り組んでほしい
ことを記入してもらおうようになっており、組合員の積極的な
参加を促すという点とひとつことカードの周知につなげること
ができていました。

また当日使用したカボチャは地域生協に協力をお願いして
仕入れていました。ただ提供をしてもらうだけでなく地域生
協関する紹介リーフレットも配布まですることができていま
した。

POINT.2

店舗を回りながら、リ・リパックの意義を知れる工夫

参加者を集める工夫として、リ・リパックに関する全6問のクイズ
に回答すると、抽選に挑戦できるようにしていました。そのクイズは
リ・リパックの社会的な意義に関するクイズやリ・リパックを活用す
ることが何につながっているのかを知ることができるクイズになっ
ていました。クイズラリーの形式をとり、クイズがどこにあるのかを探
してもらうことで、ショップ内を隅々まで見てもらえるという工夫が
施されていました。

また企画が終了してからリ・リパックを回収することに対する認知
が高まり、ショップの回収ボックスが数日でいっぱいになりました。
すぐに取り組みの成果が表れる結果となりました。



POINT.3

自大学の色に合わせた店舗づくり

留学生が多いAPUにおいては、派手な仮装をして登校をする学生も
多く、ハロウィンがとても馴染み深いイベントになっていました。学
生委員会としてもハロウィンらしいフォトブースの店舗の前に設置を
して、店舗を覗きに來たいと思える工夫がされていました。



つながる元気、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[QBK NEWS]で紹介したい
活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [今川大悟]
Imagawa.Daigo@univ.coop

